



教育行政について

問 市は、平成31年4月にブルーフラッグを取得しました。学校図書室において、持続可能な開発目標SDGsに関する本が、児童・生徒に興味を持ってもらえるように置かれているか伺います。

答 教育部長 SDGsやブルーフラッグに関連する書籍・本は、ジャンル別に所蔵しています。新刊は、新館コーナーで、ポップ付きで紹介している学校もあります。児童・生徒が、SDGsやブルーフラッグに興味・関心を持てるように、学校図書室における取組の充実を、推進していきたいと考えています。

問 新型コロナウイルス感染症対策として、体調不良者が出た場合の、保健室来室ルール、保健室のゾーニングについて伺います。

答 教育部長 けが等の通常保健室と、発熱・風邪等の第2保健室を設置しています。

体調不良者は担任に申し出て、担任は内線等で児童・生徒の様子を養護教諭に伝え、対応する部屋を決めて移送しています。

問 養護教諭だけでは賄えない仕事量ですが、どのように先生と連携して行われているのか伺います。

答 教育部長 養護教諭の職務は多岐に渡り、負担も大きくなっています。学校保健が機能するために、校長の指導のもと、学校保健計画に基づき、全職員で組織的に対応を行っています。

問 変質者等の通報の年間件数および内容について伺います。

答 教育部長 令和2年度の通報件数は11件で、声掛け、不審な行動、露出の報告がありました。

問 児童に対するわいせつ行為は一生心の傷として残ります。被害を防ぐため、見守りの参加者に挨拶を返すようになれば、見守りの参加者が増えるはずではないでしょうか。

新聞記事で近隣の小学校の取組が掲載されていました。子育ての核家族化が進む中、見守りを含め、地域も共に子育てに参加するためには、もっと情報を発信していただきたいと思います。山武市の学校もいろんな取組をされて

いると思います。山武市の取組について伺います。

答 教育長 子どもの健やかな成長のためには、豊かな心を育むことが不可欠です。豊かな情操、規範意識、自己肯定感、自己有用感等を育成するための教育を推進しています。豊かな心を育むためには、挨拶をはじめ、感謝の気持ち、郷土愛の育成等を図ることが必要です。これからも、一層、道徳教育の充実を図り、郷土を愛するともに、規範意識の育成に努めていきたいと考えています。



一般行政について

問 消防団員の活動は地域に密着したものであり、市民が安心して生活する上で、欠かせない組織です。団員の減少を食い止めるために、どのような対策を考えているのか伺います。

答 市長 取り組みとして、退団した方が火災出動することができるとB団員制度があり、昼間の火災発生時に、大きな力となっています。

平成27年に女性部が発足し、火災予防啓発活動や応急手当普及活動などを

行っています。

今後様々な形で、消防団業務に携わることができるよう取り組みを進めていきながら、現在の団員が活動しやすい環境をつくるため、処遇や装備の改善に努めていきたいと考えています。

問 他県では、消防団応援の登録店舗で割引サービスが受けられる、団員カードが支給されています。本市での導入について伺います。

答 消防防災課長 市長が県議時代に、静岡県ふじのくに消防団応援連盟事業について視察を行った内容を聞き、地域防災の要である消防団員を支援する取り組みとしては、大変有益なことだと考え思案中でした。

今後、導入に向け、先進事例などを調査しながら、関係機関と調整していきます。



地域を守る消防団